

浜松地区中学生サッカー選手権大会



第40回読売カップ争奪



ご挨拶

関係各位の皆様のご尽力で、「第40回読売カップ争奪戦 浜松地区中学生サッカー選手権大会」が読売新聞社との共催で開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

さて、12月にチャンピオンシップ決勝戦及び3位決定戦を観戦することができました。3位決定戦は、積志中学校 VS オイスカFC、そして、決勝戦は、浜松開誠館中学校 VS 浜松FC U15 3年連続の組み合わせとなりました。過去の対戦を振り返りながら分析してみました。天候は、西部地区特有の強風と寒さが厳しい中で繰り広げられました。「この強風を活かした戦術で戦えるか」、「相手の早く強いプレッシャーの中でボールコントロールとパスワークで打開できるか」、「オープンスペースを見つけた攻撃を展開できるか」、「1対1の攻防で勝つことができたか」、「攻守の切り替えの早さ」、という5点に絞ってみました。優勝した浜松FCは、昨年のチームとは違い、1対1での攻防で粘り強い戦いと正確で素速いプレーが出来ていました。



一方、浜松開誠館中学校は、風上への攻撃時に相手DFの裏へのスループスを狙い、攻撃を仕掛けていたが、浜松FCのDFに素早くスペースを埋められてチャンスを逃していました。

浜松FCは、中盤の粘り強い守備からのカウンターで両サイドのオープンスペースを賢く使い得点を重ねて4-2で勝利し、初優勝を飾りました。

この大会は、2年生としては最後の大会となり、夏の大会まで、3か月余りです。自分たちのチームの弱点の補強や長所の精度をもっと高めたチームの特長となるようにしましょう。そして、1試合ごとにチームや個人の課題を分析し、次の試合に備え、課題解決を図るトレーニングに励んでチーム力をアップしてリーグ戦を突破してください。(試合→分析→課題解決トレーニング→次の試合)

選手の皆さん、サッカーの試合ができることに楽しさを感じながら、力一杯フェアプレーで戦ってください。この大会を通して、次へのステージに向けての何かを掴むことを願っています。

結びに、本大会開催にあたりご尽力いただきました読売新聞社をはじめ関係各位に感謝申し上げますとともに、選手諸君のご健闘と大会のご成功を祈念しご挨拶いたします。

(一財) 静岡県サッカー協会西部支部会長 増井 俊光

第40回読売カップ争奪戦・浜松地区選手権大会が開幕します。選手の皆さん、準備や体調は万全ですか。練習や試合で培った力を全て出し切ってください。

近年のワールドカップに出場する日本代表の選手は、多くが海外チームで活躍する精鋭が占めています。多分、海外の厳しい環境で技術だけでなく、精神面も鍛え抜かれ、個の力が備わってくるのでしょう。

この選手権でも、ぜひ皆さんの熱い思いやプレーを見せて、個の力を磨いてください。勝ち負けはありますが、仲間たちと切磋琢磨して挑んだ先には喜びや悔しさがあり、その過程が成長へとつながるはずです。そして、この選手権から世界へと羽ばたく選手が育つことを夢見ています。

大会は2か月近くに及びます。日頃から睡眠や栄養を十分に取り、うがいや手洗い、マスク着用など基本的な衛生対策を心がけてください。皆さんが元気にプレーできることを心から願っています。

大会が開催できるのも、多くの方にご尽力いただいたおかげです。運営する協会や審判の皆さん、指導する監督やコーチの皆さん、家族や地域の皆さんに感謝の気持ちを忘れずプレーに励んでください。

読売新聞浜松支局長 佐野 泰彦

大会役員

大会会長

増井俊光（県サッカー協会西部支部会長）

大会副会長

柳 潤司（県サッカー協会西部支部副会長）

岡本知之（県サッカー協会西部支部副会長）

小倉政治（県サッカー協会西部支部副会長）

顧問

佐野泰彦（読売新聞浜松支局長）

武田泰淳（報知新聞社静岡支局長）

杉山貴宏（静岡第一テレビ事業局長）

大会委員長

西村脩平（県サッカー協会西部支部中学生部長）

大会実行委員長

増田剛士（県サッカー協会西部支部中学生部副部長）

大会副実行委員長

岡田真明（浜松市中体連サッカー競技部長）

審判委員長

清水智博（県サッカー協会西部支部審判委員長）

審判副委員長

豊田朋士（県サッカー協会西部支部中学生部審判委員長）

技術委員長

頼母木勇太（県サッカー協会西部支部技術委員長）

技術副委員長

小関教平（県サッカー協会西部支部中学生部技術委員長）

大会実行委員

各中学指導者

栄光の足跡

昭和 61 年(第 1 回) 優勝●湖東中学 準優勝●南陽中学
昭和 62 年(第 2 回) 優勝●八幡中学 準優勝●丸塚中学
昭和 63 年(第 3 回) 優勝●南陽中学 準優勝●東陽中学
平成 1 年(第 4 回) 優勝●天竜中学 準優勝●丸塚中学
平成 2 年(第 5 回) 優勝●天竜中学 準優勝●西部中学
平成 3 年(第 6 回) 優勝●西部中学 準優勝●中郡中学
平成 4 年(第 7 回) 優勝●天竜中学 準優勝●丸塚中学
平成 5 年(第 8 回) 優勝●丸塚中学 準優勝●中部中学
平成 6 年(第 9 回) 優勝●西部中学 準優勝●丸塚中学
平成 7 年(第 10 回) 優勝●ホンダ FCU 準優勝●天竜中学
平成 8 年(第 11 回) 優勝●南部中学 準優勝●ホンダ FCU
平成 9 年(第 12 回) 優勝●丸塚中学 準優勝●
平成 10 年(第 13 回) 優勝●天竜中学 準優勝●東部中学
平成 11 年(第 14 回) 優勝●東陽中学 準優勝●東部中学
平成 12 年(第 15 回) 優勝●江南中学 準優勝●聖隷ジュニア
平成 13 年(第 16 回) 優勝●ホンダ FCU 準優勝●丸塚中学
平成 14 年(第 17 回) 優勝●丸塚中学 準優勝●聖隷ジュニア
平成 15 年(第 18 回) 優勝●江南中学 準優勝●天竜中学
平成 16 年(第 19 回) 優勝●ホンダ FCU 準優勝●開誠館中学
平成 17 年(第 20 回) 優勝●東陽中学 準優勝●新津中学

平成 18 年(第 21 回) 優勝●開誠館中学 準優勝●浜松東部中学
平成 19 年(第 22 回) 優勝●開誠館中学 準優勝●浜松北部中学
平成 20 年(第 23 回) 優勝●天竜中学 準優勝●江南中学
平成 21 年(第 24 回) 優勝●開誠館中学 準優勝●浜松北部中学
平成 22 年(第 25 回) 優勝●開誠館中学 準優勝●丸塚中学
平成 23 年(第 26 回) 優勝●天竜中学 準優勝●開誠館中学
平成 24 年(第 27 回) 優勝●開成中学 準優勝●曳馬中学
平成 25 年(第 28 回) 優勝●富塚中学 準優勝●東部中学
平成 26 年(第 29 回) 優勝●富塚中学 準優勝●開成中学
平成 27 年(第 30 回) 優勝●天竜中学 準優勝●浜北北部中学
平成 28 年(第 31 回) 優勝●開誠館中学 準優勝●入野中学
平成 29 年(第 32 回) 優勝●開誠館中学 準優勝●浜松東部中学
平成 30 年(第 33 回) 優勝●開誠館中学 準優勝●南部中学
平成 31 年(第 34 回) 優勝●天竜中学 準優勝●新居中学
令和 2 年(第 35 回) 新型コロナウイルス対策の為に中止
令和 3 年(第 36 回) 優勝●天竜中学 準優勝●湖東中学
令和 4 年(第 37 回) 優勝●南陽中学 準優勝●東部中学
令和 5 年(第 38 回) 優勝●北浜中学 準優勝●可美中学
令和 6 年(第 39 回) 優勝●積志中学 準優勝●中郡中学

第40回読売カップ争奪浜松地区中学生サッカー選手権大会 要項

- 1 主旨
 - ・サッカーを通じて、親睦をはかるとともに、サッカー競技の普及と向上をねらい、あわせてたくましい少年の育成を目的とする。
 - ・指導者の研修の場とする。
- 2 主催 浜松市サッカー協会
- 3 共催 読売新聞社浜松支局
- 4 主管 一般財団法人静岡県サッカー協会西部支部第3種
- 5 後援 浜松市教育委員会 公益財団法人浜松市スポーツ協会
静岡第一テレビ 報知新聞社
- 6 期日 令和7年 1月19日(日)～3月22日(土)
- 7 会場 浜松市内各会場
- 8 参加資格
 - (1) 2024年度(公財)日本サッカー協会へ登録してある中学2年生以下のもので、中体連またはその他のクラブへの登録をしているものとする。※大会初日に選手証の確認を行う。(申請中は不可)
 - (2) 登録人数が11人に満たないチームがあった場合、次の条件のもと他のチームとの合併を許可する。
 - ・中体連の合同チーム参加規程に準ずる。
 - ※特別な事情がある場合は支部長の判断による。
 - ・支部監督会議で必ず合同チーム参加についての合意があること。
 - ・合同チームのチーム名は双方の名前をつけること。
 - ・救済策の合同チームであり、強化のための合同チームでないこと。
 - ・片方が11人以上のチームでも構わない。また、2チームでも11人に満たない場合は、3チームの合同チームも許可する。
 - ・各中学校長の承認を得ること。
 - (3) 参加チームは、その中学校に在籍し、かつ本協会の女子加盟チーム登録選手を移籍手続きなしで本大会に参加させることができる
- 9 大会規定
 - (1) 競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会競技規則2024/25による。
 - (2) 使用球は(公財)日本サッカー協会公認球(5号球)の持ち寄りとする。
 - (3) 開誠館を除く37チームによる予選リーグを行い、各リーグ上位2チームが決勝トーナメントに進出する。優勝したチームが、開誠館とのチャンピオンシップを行う。(3月22日予定)
 - (4) ①予選リーグ
 - ・試合時間は60分(30分-5分-30分)とし、勝敗が決しない場合は延長もPK戦も行わない。
 - ・勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)の合計により順位を決定する。
 - なお、勝点が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - 1 全試合のゴールディファレンス(総得点-総失点)
 - 2 全試合の総得点
 - 3 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - 4 シード順
 - 5 1～4の項目について同一の場合は、抽選により決定する。
 - ・チームが棄権した場合は、棄権したチームの勝ち点を「0点」、相手チームの勝ち点を「3点」とする。また、棄権したチームの失点数は、相手チームの予選リーグの平均得点(小数点以下四捨五入)とする。例えば、Aチームが棄権し、Bチームの予選リーグの平均得点が3.25だった場合、試合結果は、A(0-3)Bとなる。
 - ②決勝トーナメント
 - ・試合時間は60分(30分-5分-30分)とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行わず、PK戦を行う。
 - ③チャンピオンシップ(3チーム総当たり戦)
 - ・試合時間は60分(30分-5分-30分)とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行わず、PK戦を行う。
 - (5) 選手登録は試合ごとの25名登録とし、試合開始30分前にメンバー表に先発選手11名に○をして、1部本部に提出する。選手交代は9名までの自由交代とする。
 - (6) ベンチ内はメンバー表に記載されたスタッフ(監督、コーチ)と登録選手の25名とする。スタッフは4名以内とし、これとは別にトレーナーのベンチ入りを認める。
 - (7) ベンチは対戦表の左側のチームがホーム側(本部から見て左)に入る。

- (8) 警告は累積2回で次の1試合を出場停止とする。本大会において、退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、これ以降の処置については本大会の規律委員会において決定する。
規律委員会は、3種委員長、会場責任者、会場ごとの規律委員で構成する。

- (9) ユニフォームについては下記に定める。

- ・ユニフォームは正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）準備し、いずれかを着用する。番号は1～25が望ましい。上着の前面にも番号を付ける。GKも同様とする。
- ・正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ・主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ・主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することかできる。
- ・短パン・ストッキングにおいては同系色であればメーカー等、問わない。（ラインあり・マークありも可能とする。）
- ・チームのキャプテンは、キャプテンであることを明確に表示するアームバンドを着用する。アームバンドは単色のものとし、表示されるものは運営が認めたもの（「C」マークやブランドロゴなど）とする。
- ・ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ・アンダーシャツ・ショーツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
- ・合同チームについては上着は同じものを着用し、短パン・ストッキングについては同系色であればラインの有無等は問わない。またビブスでも可能とする。
- ・1名しか登録していないGKが怪我等で交代しなければならない場合、フィールドプレイヤーがGKをする際、交代するGKのユニフォームまたはサブキーパーのユニフォームを着用して出場してもよい。
- ・PK方式の場合において、戦術的にフィールドプレイヤーがGKをするときに、自分とは異なる番号のGKユニフォームを着用して出場することを認める。その際、パンツやソックスはフィールドプレイヤーと同じものでよい。

- (10) 試合の延期・中止など

- ① 試合は雨天決行とするが、暴風、大雨、洪水等の警報が発令された場合や、グラウンド状況などが不良の場合、その他不測の事態が生じた場合は延期を検討する。
- ② 試合途中でも、雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、直ちに近くの建物、自動車、バスの中に入り、安全な空間に避難する。雷活動が止んでも20分以上経過してから屋外に出る。
- ③ ①②のような不測の事態が生じ、試合続行が困難な場合は、試合を中断し、残り試合時間分を後日実施する。なお、試合の審判についてはできる限り同一の審判団とする。
- ④ 後日の実施が不可能な場合は、打ち切り時点での点数で勝敗を決する。同点の場合は抽選で勝ち上がりチームを決める。

10 その他

- (1) 今大会のシードについては以下のとおりとし、ホンダカップの結果を反映させる。

1 積志 2 天竜 3 神久呂 4 附属 5 北星 6 浜松東部 7 丸塚
8 八幡 9～11 富塚 西高中 与進 12～15 西部 高台 新津 開成

表彰については1位から8位まで協会から賞状を授与する。また、1位から4位のチームには読売新聞からトロフィーを授与する。

- (3) 大会参加費については、1試合2,500円を試合ごとに徴収する。また、グラウンド使用料は当該チームで負担する。
- (4) 開会式は、1月19日（日）サーラグリーンフィールドにて8:30より行う。参加者は会場の1・2試合目の出場チームが参加する。閉会式は3月22日（土）SGFサッカー場にて、チャンピオンシップ終了後に行う。
- (5) 上位8チームは春季西部大会のシード権に反映される。
- (6) 下記の通り、結果により中体連夏季大会のシードポイントに加算される。
チャンピオンシップ優勝→8P チャンピオンシップ準優勝→7P
読売カップ2位→6P 読売カップ3位→5P 読売カップ4位→4P
読売カップベスト8→3P 読売カップ予選リーグ1位→2P 読売カップ予選リーグ2位→1P
- (7) 大会結果はすみやかに杉山先生（与進中）へ報告する。
- (8) 大会中における事故については応急処置を行うが、その後は自チームの責任とする。賠償責任が生じたときも同様とする。

11 大会不成立の場合の扱い

- (1) 原則

- ・試合が実施できないチームがある場合は、該当チームを不戦敗とする。
- ・状況に応じて大会を継続させるか、打ち切るかを主催者で判断する。

- (2) 決勝トーナメント1、2回戦を完了できないまま、期日までに大会日程を消化できなかった場合、春季

西部大会のシードについては、ホンダカップの結果を反映させる。